

保育のヒント～「科学する心」を育てる～

発見～砂・土～／岡崎市根石保育園

砂や土に触れることが大好きな子どもたち。集めたり、山を作ったり、掘ったり、固めたりと、様々な関わり方を楽しむ中で、気づきや発見をします。

保育者が、その気づき・発見をいかにキャッチするか？表している言動をどう読み取るのか？で、援助は大きく変わります。

子どもたちの気づきや発見を受け止め、子どもの姿に寄り添うことを大切にすることで「科学する心」が育まれている事例を紹介します。



○ 「みんなでダムを作ろう」「チョコクリーム発見」／5歳児

毎年、砂場に新しい砂を入れたり、園庭にサバ土を入れ土山を高くしている。子どもたちは、そこを駆け上がったたり下ったり転げたり、物を転がしたりと意欲的に遊んでいる。園庭に起伏（高低、変化）を付けることで遊びを工夫するようになり、運動量も多くなっている。

新しい砂や土が入るとみんな大喜び。3歳児～5歳児はダイナミックに泥んこ遊びをし、匂い、感触、色の違いを感じる。

✿ 7月25日

- 5歳児が砂ダムとサバ土ダムを2チームに分かれ作るようになった。
- 2チームとも深く掘れたのでTちゃんが入り深さを計った。膝、腰に手を当て計り、2つのダムの深さを比べる。Tちゃんの腰までの深さに揃えることとなり、さっそく水を入れていく。
- 同じ量の水を入れることになり、バケツで10杯入れた。
- 「ダムがどう変化していくかな？」と期待をもった子どもたち。
- 特に、RちゃんとKちゃんは離れず砂ダムを覗いたり、サバ土ダムを覗いたり、目をキラキラさせ、とても関心がある。
- しばらくすると、Rちゃんが「砂ダムの方が減ってる！」と気付く。
- Kちゃん「なんか線が付いてる！」と、初めに入っていた水の線が付いているのを見発見する。
- その後、他の子どもも時々覗くようになり、砂ダムの淵が2か所崩れかけたので、「サバ土は固いけど砂は柔らかい」と感じとったようである。25分程で砂ダムの水は無くなった。
- Hちゃん「砂が水を吸ったんだよ」「水が砂の中に入った！」と感じたことを言う。
- 砂ダムの底を見てKちゃん「固まってる！」「フワフワしてる。柔らかい」と言い、触ってみると「クリームみたい！」と喜ぶ。
- サバ土ダムはまだ水が残っている。Tちゃんは、「こんなに減ったよ！」と、くっきり



付いた後を見る。

- Kちゃん「なんか水が綺麗になってる！」と気付く。
- Yちゃん「下が見えるよ！」Hちゃん「ガラスみたい」「さっきまで濁ってたけど？」と、口々に言う。
- Tちゃん「お日様に当たったからだよ！」水面を見て「ピカピカ光っているね」と、思ったことを言う。
- 子どもたちの感じたように保育者もその綺麗さに驚いた。水を入れてから1時間程経つとサバ土ダムの水は無くなった。
- 底を見て「わーっ、固まっている！」と言う子どもたち。
- Tちゃん「肌色で光っている！」と、様子を見て言う。
- Aちゃん「ツルツルでクリームみたい！」「食べたーい」
- 友達も保育者もみんなでその現象に感動した。



✦ 7月26日～8月5日

- 5歳児はサバ土の底に残った光る土を、フワフワでトロトロで茶色のクリーム「チョコクリーム」と名付ける。作り方も、いろいろなクラスに教え、目をキラキラ輝かせ夢中になって作った。
- Kちゃん「そっとチョコクリームを掬うと線が付いたよ」
- Mちゃん「いっぱい掬うとザラがくっつくもん、だめだよ」深く掘るとザラザラの土が出てくることが分かり、みんなに伝える。
- 子どもたち同士チョコクリーム作りを見て覚えたり、失敗して気付いたり分かったり、伝えたりするやりとりをし作り方を工夫する姿がある。
- スコップで取っている子どもがいたが、だんだん指先で取るようになった。
- みんなでたくさんチョコクリームを集めようということになり、サバ土山にいくつもの穴を掘ることを考え付いた。
- チョコクリームを取ると、すぐに水を入れておくようになった。
- 天気が良ければ1日に5回くらい取れる。1回で取れる量はごくわずかであるが、根気よく取り組んでいる。2週間近くチョコクリーム集めを楽しんだ。
- サランラップで塞いでいると固まることもなくトロトロしている。
- 保護者も送迎の際覗いたり、子どもの話を聞いたりし関心をもった。



✦ 考察

- 砂とサバ土の違いを五感で感じる子どもたち、砂ダムとサバ土ダムの両方を作って比べたことで水がどうなっていくのが見ることができた。
- 「砂が水を吸ったんだ」と感じる子どもや「水が砂の中に入った」「ずーとずーと下に行くんだよ」と表現する子どもなど、子どもたちの気付きは面白く様々である。
- それらの子どもたちの気付きや発見を保育者が捉えて共感することで、工夫したり考えたりすることや好奇心の高まりに繋がっていくことを感じた。
- 子どもたちが発見した「チョコクリーム」は、とても綺麗でピカピカ光り、子どもたちも保育者もワクワクドキドキの感動体験となった。

無断転載を禁ず。引用する場合は下記を必ず明記願います。

「(C)公益財団法人 ソニー教育財団

ソニー幼児教育支援プログラム 幼児教育保育実践サイト <http://www.sony-ef.or.jp/sef/preschool/>」

